

## 「第5次山梨県配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する基本計画(R6～R10)」に基づく令和6年度状況報告

### 【経緯】

「第5次山梨県配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する基本計画」(以下、「第5次DV防止計画」と記す。)において、毎年度、庁内関係機関の施策の推進状況を「山梨県男女共同参画審議会」に報告することとしている。

### 【「第5次DV防止計画」の趣旨】

- 県では、「第5次DV防止計画」に基づき、関係各課が連携し、各種施策を総合的に推進する。
- 「配偶者等からの暴力を許さない社会づくりの推進」「被害者の立場に立った相談・保護体制の充実」「自立に向けた切れ目のない支援の充実・強化」「施策推進のための連携体制の強化」の4つの基本目標の下に18の重点目標を設定。

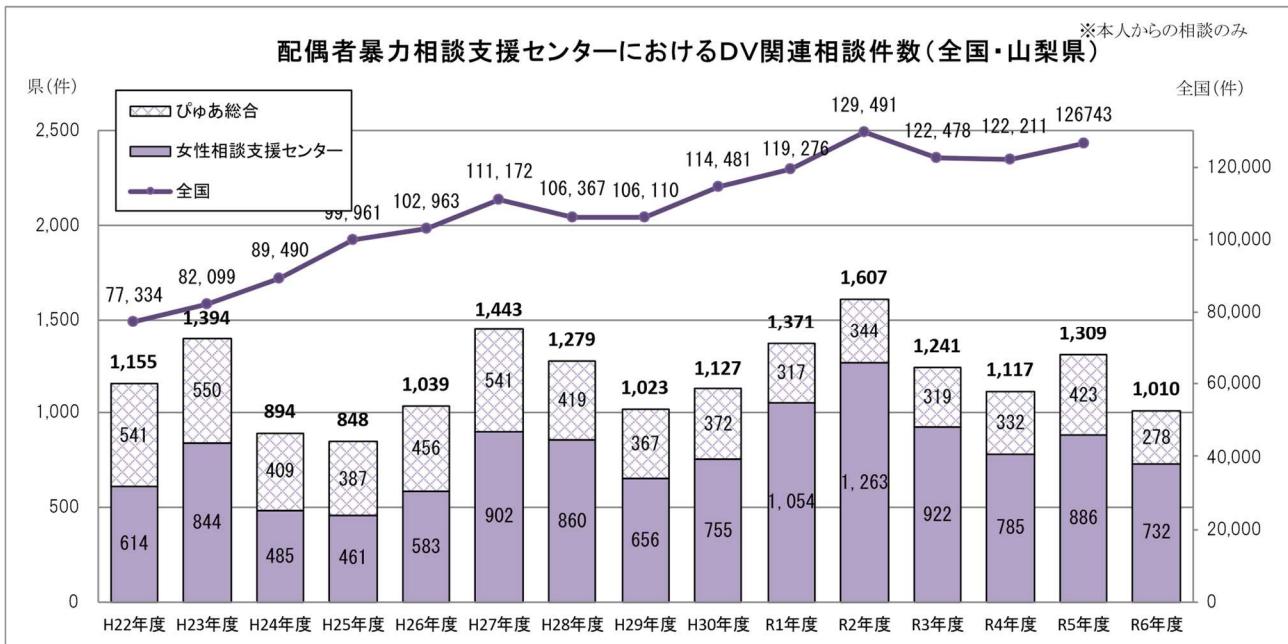
### 【取組の体制】

#### 全庁体制での施策の実施

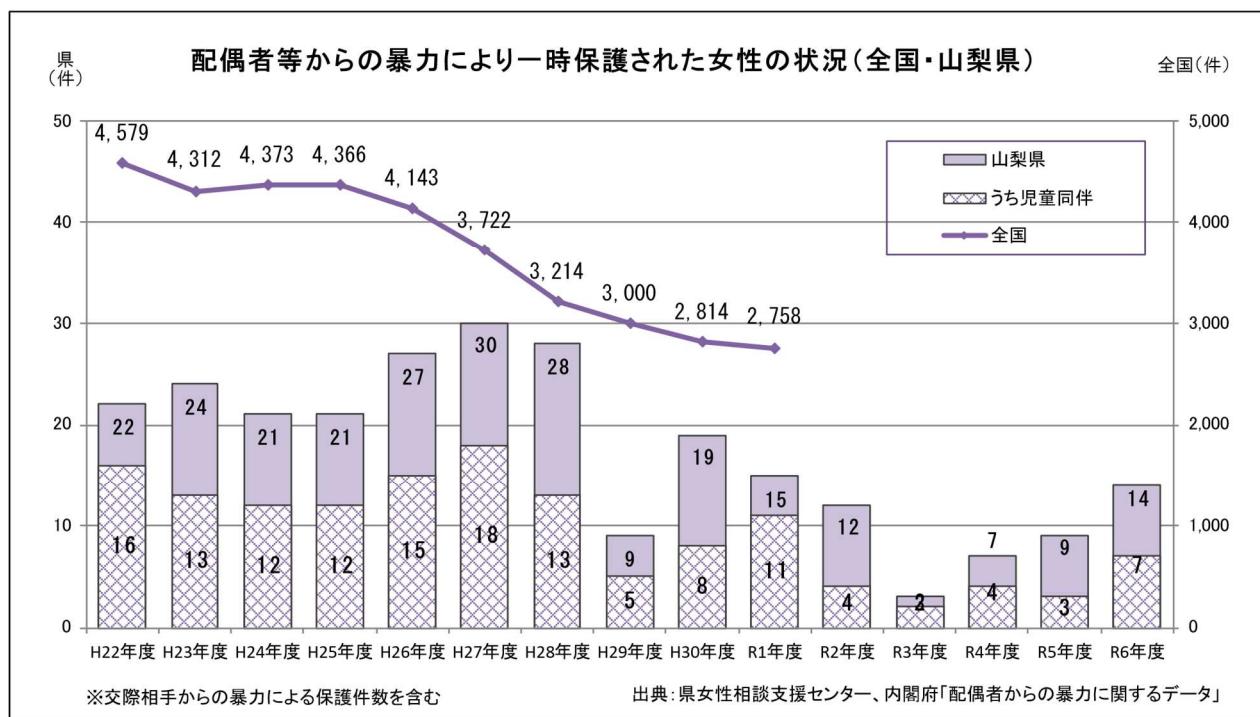
県DV防止計画、関係機関連絡協議会、  
DV防止に関する普及啓発  
男女共同参画・多様性推進課

被害者の支援(相談)・保護  
福祉保健総務課  
配偶者暴力相談支援センター

### (1)令和6年度までの山梨県のDV相談等の状況



※相談件数は平成29年度以降増加傾向にあり、令和2年度は過去最多となった。令和6年度は令和5年度と比較して減少しており、過去15年間で3番目に低い件数となった。



※一時保護件数は、全国では、減少傾向にある（令和2年度以降の件数発表中止）。本県についても、ピークであった平成26～28年と比較すると、29年以降は件数が減少傾向にあるが、令和4年から増加傾向にある。児童を同伴するケースについては常に一定数が存在する。

## (2) 「第5次DV防止計画」における数値目標の進捗状況

### ◆数値目標1：DV被害について誰にも相談しなかった割合

R2 基準値	R10 目標値	R6 年度値	進捗率
54.2 %	30%以下	62.9%	-36.0%

- 「男女共同参画・共生社会推進に関するアンケート調査」において、「あなたはこれまでに、あなたの配偶者から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか」という設問の「どこ（だれ）にも相談しなかった」と回答した割合となっている。
- DV被害者が相談しやすくなるよう、相談窓口を掲載した啓発パンフレットや相談カードを人目につきやすい場所に配布し、相談窓口の認知度向上を図る。

### ◆数値目標2：DVについての認識

R2 基準値	R10 目標値	R6 年度値	進捗率
50%～80%台 (80%以上3項目)	全て80%以上 (80%以上11項目 (全項目))	50%～80%台 (80%以上3項目)	0%

- 「男女共同参画・共生社会推進に関するアンケート調査」において、「あなたは、配偶者の間で次のような事が行われた場合、それを暴力だと思いますか」という設問に対し、各場面において「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した割合となっている。
- DVに関する正しい知識の普及啓発するため、今後も県民向けの講演会や若年層を指導する教職員向けの研修会等を実施し、より幅広い層への理解を深める機会と内容の充実を進める。

### ◆数値目標3：支援者向け研修会の理解度

R4 基準値	R10 目標値	R6 年度値	進捗率
54.5%	80.0%	43.8%	-42.0%

- DV関係機関連絡協議会実務者会議（女性相談支援センター主催）でのアンケート結果における「十分理解できた」と回答した人数の割合となっている。
- 令和6年度アンケート結果では「やや理解できた」と回答した人数を含めると、全ての参加者が何らかの理解を示しており、全体としてはおおむね理解されていたと評価できる。
- DV被害への支援を迅速かつ適切に、被害者に寄り添って行えるよう、専門性を高め、幅広い知識や情報を習得するための研修機会を確保し、継続的な資質向上に取り組む。

### ◆数値目標4：当事者の居場所づくりに資する取り組みでの満足度

R4 基準値	R10 目標値	R6 年度値	進捗率
-%	80.0%	80.0%	100%

- 令和6年度より実施している「さんSunプログラム」でのアンケート結果において、プログラムに参加して「有意義だと感じた」と回答した人数の割合となっている。
- 「さんSunプログラム」では、暴力の被害者が安心・安全な環境で誰かとつながることができる居場所や暴力によって失った尊厳や生きる力を取り戻し、自立に向かって一步を踏み出せる機会の提供を行った。
- 参加者アンケートからは、高い満足度を示す回答が8割を占め、目標値を達成した。今後は、より効果的なプログラムを実施できるよう、参加者の意見を取り入れながら内容の充実を図っていく。

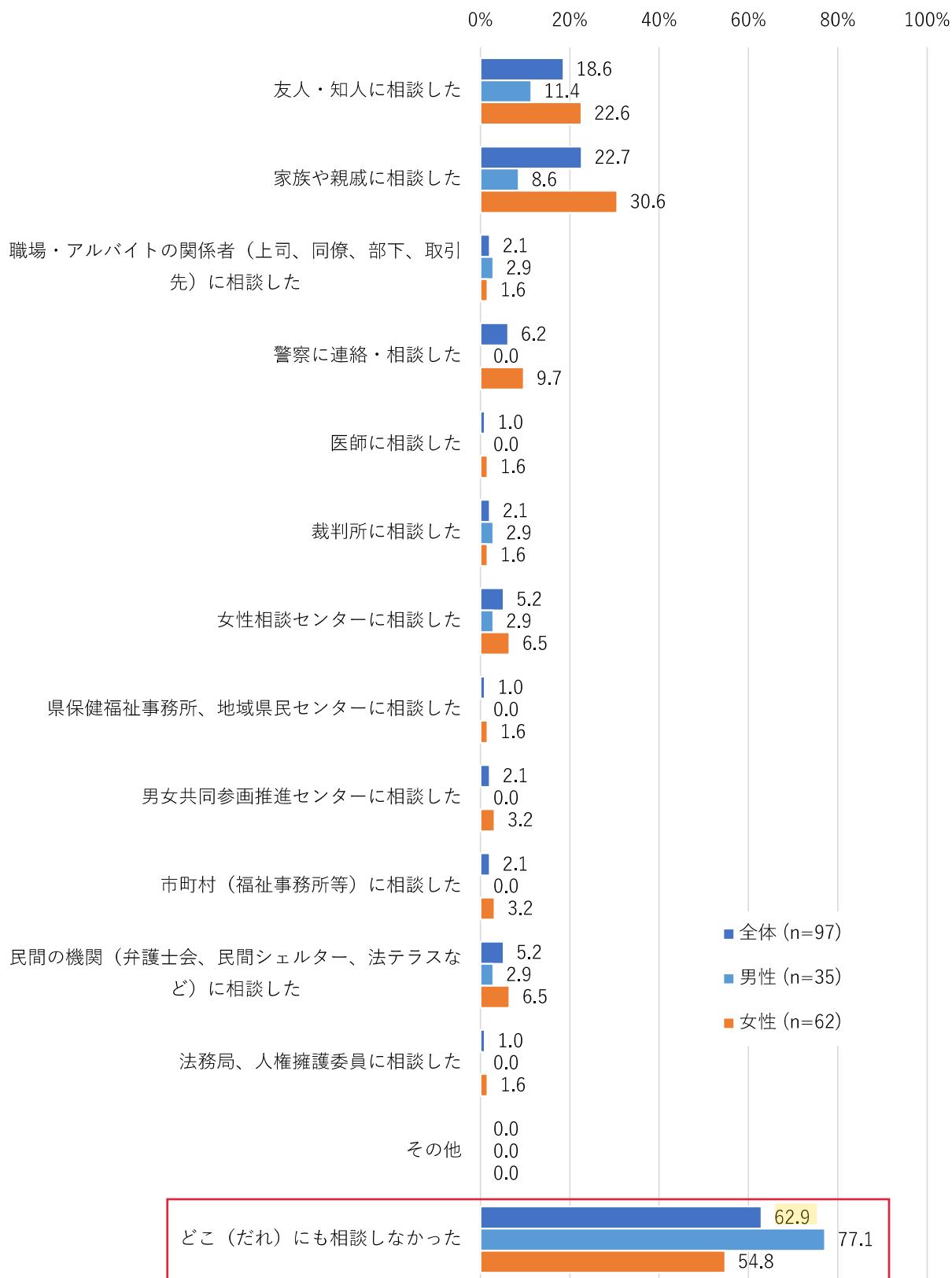


## 数値目標1 DV被害について誰にも相談しなかった割合

## 「R6 県政モニターアンケート」

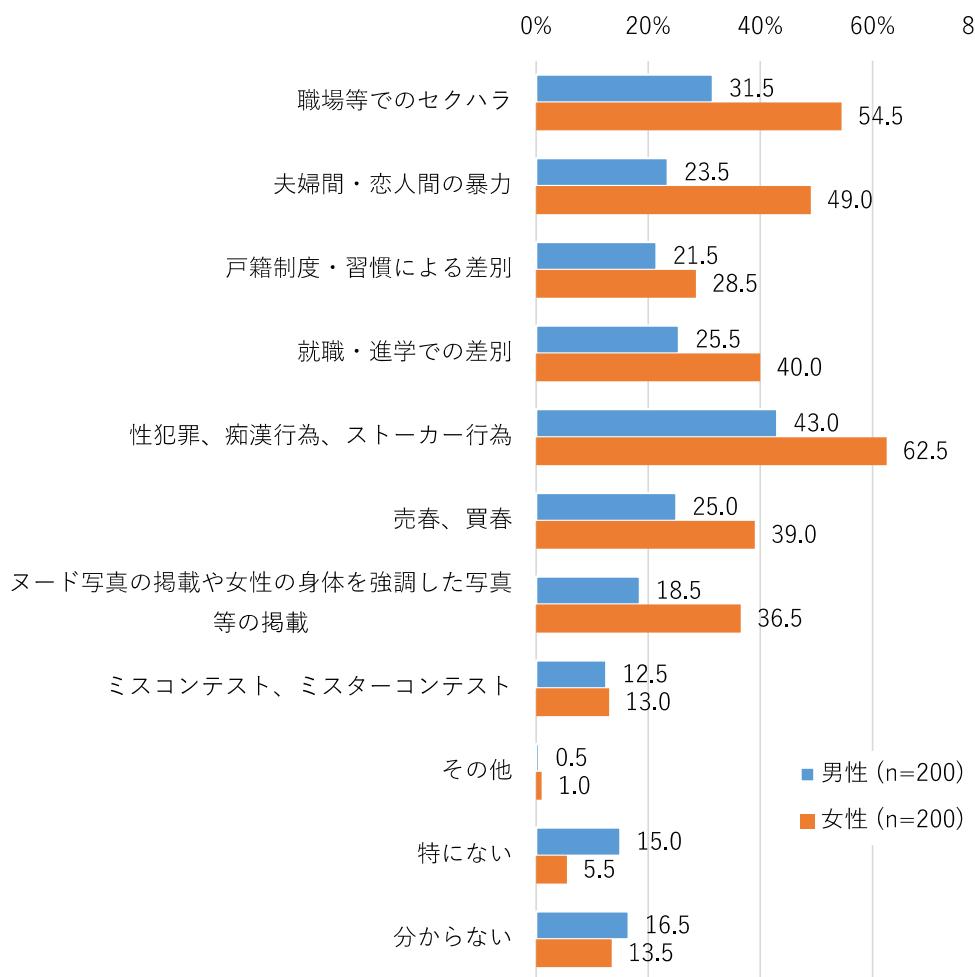
【問17で1つでも「1・2度あった」、「何度もあった」と答えた方のみ】

問17-4 あなたはこれまでに、あなたの配偶者から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(複数回答可)



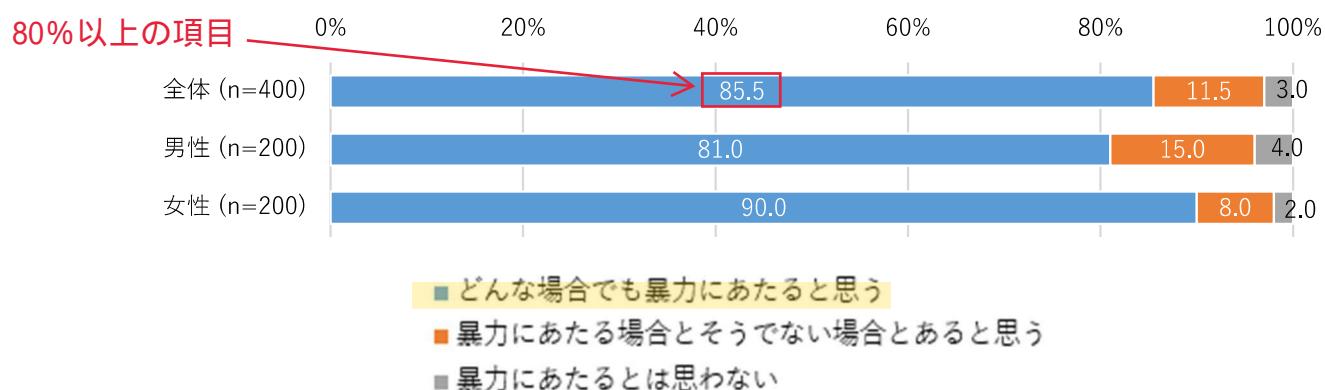
## 「R6 県政モニターアンケート」

問15 あなたが、男女間において人権が尊重されていないと感じるのはどのようなことですか。(複数回答可)

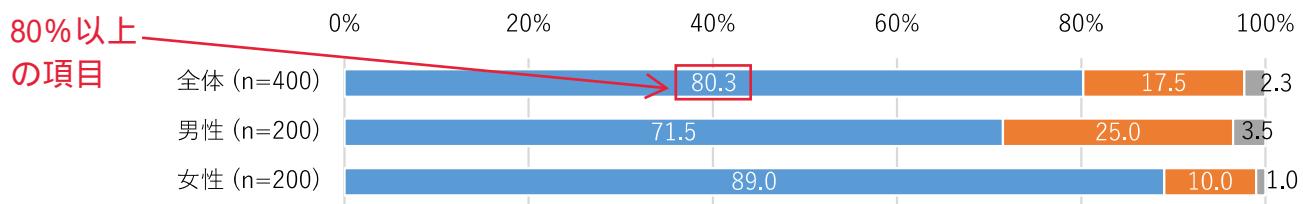


問16 あなたは、配偶者の間で次のようなことが行われた場合、それを暴力だと思いますか。

A 骨折、打ち身、切傷などのケガをさせる



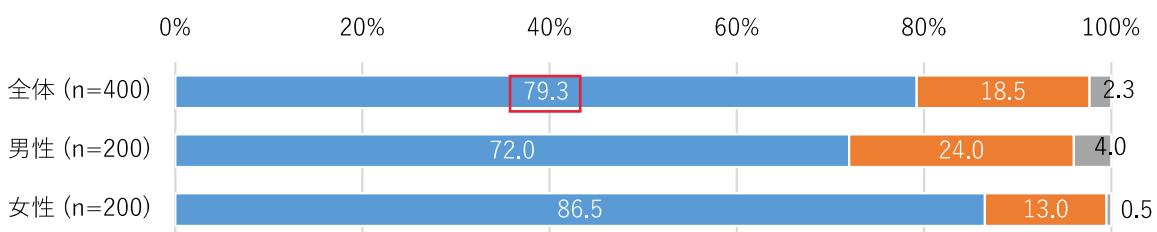
### B ケガをしない程度になぐる、蹴る、平手で打つ



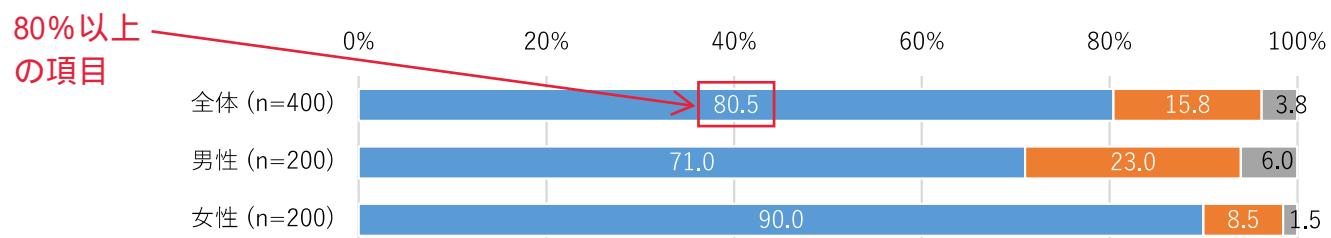
### C なぐるふりをして、脅す



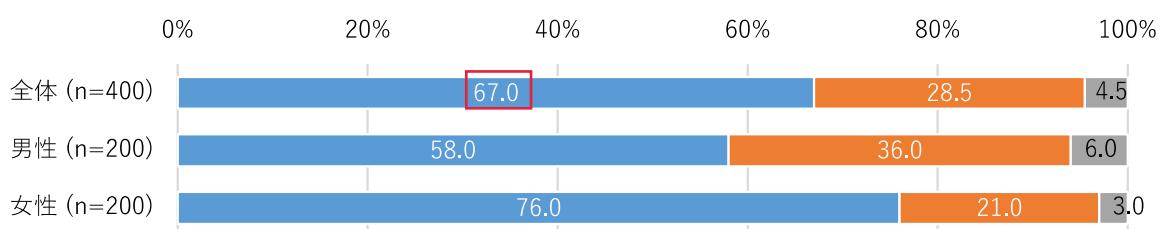
### D ドアを蹴ったり、壁に物を投げつけたりして、脅す



### E いやがっているのに性的な行為を強要する

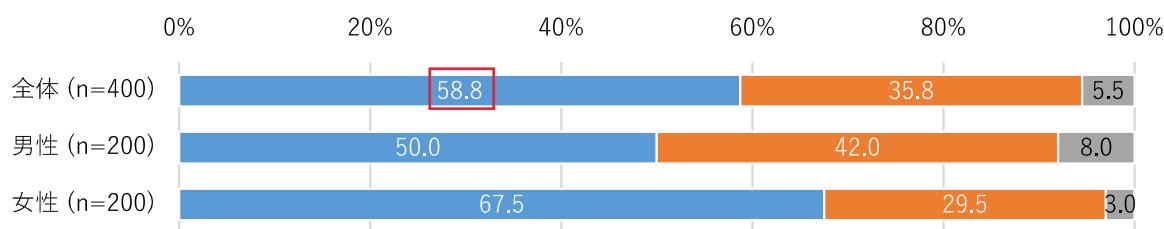


### F 避妊に協力しない

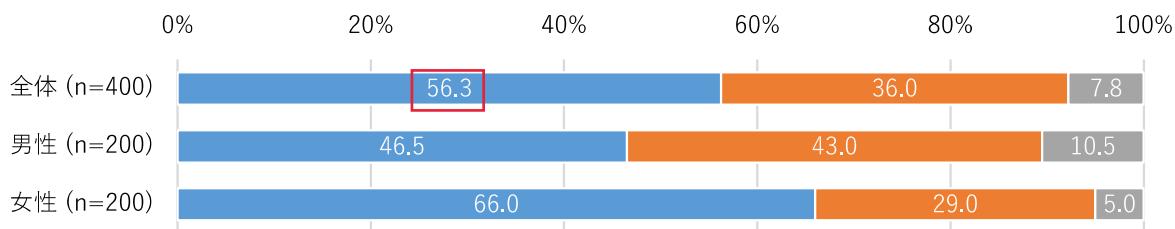


- どんな場合でも暴力にあたると思う
- 暴力にあたる場合とそうでない場合があると思う
- 暴力にあたるとは思わない

### G 何を言っても長期間無視し続ける



### H 交友関係や電話・メール・SNS 等を細かく監視する



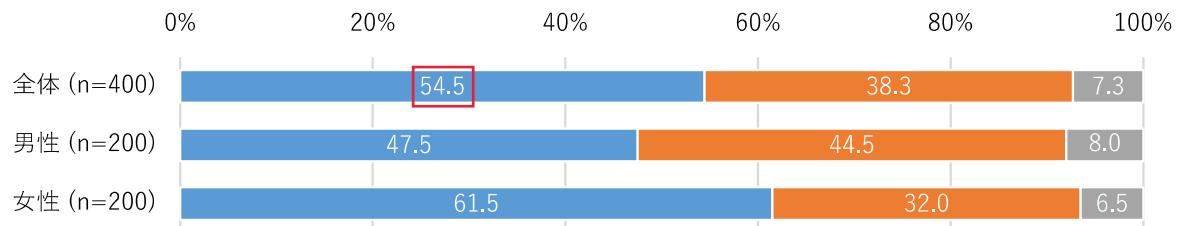
### I 大声で怒鳴る、罵る



### J 必要な生活費を渡さない



### K 交友関係や実家との付き合いを遮断する



■ どんな場合でも暴力にあたると思う

■ 暴力にあたる場合とそうでない場合があると思う

■ 暴力にあたるとは思わない

80% 70% 60% 50%  
3項目 2項目 3項目 3項目